

図書館の自由

第 121 号 (2023 年 11 月)

日本図書館協会図書館の自由委員会

<もくじ>

1. [第 109 回全国図書館大会岩手大会へのお誘い](#) 7
第 7 分科会 図書館の自由 テーマ：戦争と図書館
基調報告「図書館の自由・この 1 年」
2. [自由宣言のある風景](#) 5
北茨城市立図書館（茨城県）
須賀川市中央図書館（福島県）
3. [立命館大学平井嘉一郎記念図書館における焚書と検閲の歴史についての展示](#) 6
4. [図書館の自由・表現の自由をめぐる記事紹介](#) 7
(1) マイナンバーカードを活用した電子図書館サービス
(2) 『テロと産廃 御嵩町騒動の顛末とその波紋』をめぐる
(3) 米国の検閲・禁書
(4) 被差別部落の地名公開
5. [新聞・雑誌記事スクラップ](#) 11
6. [おしらせ](#) 19

1. 第 109 回全国図書館大会岩手大会へのお誘い

第 109 回全国図書館大会岩手大会は、大会テーマ「理想郷“イーハトーブ”で本当の幸せを考える～希望ある未来は図書館とともに～」として開催されます。

図書館の自由委員会では、分科会「戦争と図書館」を 11 月 17 日（金）の午後に開催するほか、図書館の自由展示パネル「何でも読める 自由に読める」と関連資料の展示をします。

本誌では『図書館雑誌』2023 年 10 月号掲載の「大会への招待」、大会ホームページ掲載の基調報告「図書館の自由・この 1 年」原稿を収録します。多くの参加者をお待ちしています。

会場：盛岡地域交流センター（マリオス）・いわて県民情報交流センター（アイーナ）

期日：2023 年 11 月 16 日（木）～17 日（金） 大会参加費：7,000 円

大会ウェブサイト：<https://lib-iwate.com/>

自由委員会サイト：<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/1039/Default.aspx>

○第 7 分科会 図書館の自由 テーマ：戦争と図書館

日時：2023 年 11 月 17 日（金）13:45～16:45

2022 年 2 月 24 日に始まったロシアのウクライナ侵攻によって、ウクライナの図書館は大きな被害を受け、ロシア占領地の図書館ではウクライナ文化・教育への弾圧が行われています。一方でウクライナの図書館ではロシア語の書籍が大量に撤去されているという報道もあり、あらゆる情報を提供する使命を持つ図書館の存在意義が問われる状況となっています。

また、日本においても太平洋戦争の際には多くの図書館が被災し、さらには思想統制に伴う検閲や弾圧

が行われ、思想善導の施設としての役割を負わなければならなかったという事実もあります。このように戦時下には古今東西の図書館が弾圧や被災の対象となってきました。

今回の分科会では、「戦争と図書館」をテーマに、日本における戦時中の図書館への思想統制と検閲の状況についての講演を基に、戦時下における図書館の状況についての理解を深め、戦争と向き合う図書館について考えていきます。

基調報告「図書館の自由・この 1 年」

山口真也（沖縄国際大学、図書館の自由委員会委員長）

この一年の図書館の自由に関する出来事を振り返り、図書館の自由委員会での議論と対応を報告します。文科省からの拉致問題関連図書の実践要請、公衆送信サービスに関わる利用者情報の扱い、体温測定カメラへの顔画像保存問題等を取り上げる予定。

講演「旧大橋図書館から引き継がれた発禁本」

新屋朝貴（(公財)三康文化研究所附属三康図書館）

三康文化研究所附属三康図書館は、明治期最大の出版社である博文館が設立した大橋図書館（1902 年～1953 年）の蔵書を引き継いでいます。旧大橋図書館の資料のうち、戦時中に当時の発禁本・閲覧禁止本の対象となった「憲秩素本(けんちつびんぼん)」と呼ばれた資料群があります。

これら資料とカード目録には閲覧禁止の印や、風壊、秩素といった印や書き込みがされた一方で、資料はカード目録ごと別の場所に保管され、官憲を書庫内に立ち入らせず守り抜いた、というエピソードが伝わっています。戦時中に蔵書の閲覧禁止や官憲による没収に対してどのような対応をしたのかについて報告をいただきます。

講演「戦時下における県中央図書館と地方中央図書館～旧上伊那図書館の資料から～」

濱慎一（伊那市創造館）

上伊那教育会が 1930 年に設立した旧上伊那図書館は開館当時は「壮麗完備天下に誇る」と形容された図書館です。旧上伊那図書館の蔵書を引き継ぐ伊那市創造館には、当時の業務日誌や文書等が保存されており、伊那警察署による発禁図書の差押え・没収の記録が残っています。また、地方中央図書館の自由委員会としての役割を果たそうとして上伊那図書館と、長野県の中央図書館に指定された県立長野図書館との当時の状況や関わりについて、残された資料を基にご講演いただきます。

講演「戦時下の図書館における思想統制と検閲～気仙沼市立図書館の事例～」

荒木英夫（元・気仙沼市立図書館長、元・図書館の自由に関する調査委員会委員）

戦時下の少年時代に過ごされた関東州での児童書廃棄などの体験と気仙沼図書館に残された宮城県内部通達（昭和 19 年 5 月 20 日）の 2 つの側面から、戦時下の思想統制についてお話しいただきます。検閲については、特に気仙沼市立図書館の館長菅野青顔が戦時中に警察の圧力から「社会主義文献」の廃棄に抵抗した事例とそれが図書館の自由にとどうつながったのかを中心にご講演いただきます。

研究協議

参加の皆さんと一緒に考察を深めていきます。

※補足 図書館の自由展示パネル「なんでも読める 自由に読める!？」

「図書館の自由」の歴史をわかりやすく提示するパネルを展示します。コロナ禍の図書館や 2019 年策定のデジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドラインについてなど最近の課題を追加して全部で 15 枚に拡充しました。

パネルは無料で貸出しています。関連資料とともに図書館での展示や職員研修にご活用ください。

○基調報告「図書館の自由・この一年」

山口真也（図書館の自由委員会委員長）

資料収集・提供の自由をめぐる出来事

■旧統一教会・関連団体刊行物への批判■ 2022 年 7 月に起こった安倍元首相襲撃事件を受けて関心

が高まった旧統一教会をめぐる問題に関して、図書館への関連団体からの寄贈資料の扱いが問題視されている。『朝日新聞』10月26日付(秋田版)では、秋田県立図書館が雑誌の寄贈を受けて書庫に保管、他の関連団体からの無料月刊誌については持ち帰り可能としていると報じられ、後日の報道では、県知事の方針を受けて無料誌の配布中止が決定したと伝えられている。新宿区立図書館運営協議会の会議録には、区が決定した「寄付は受け入れない」とする方針にそって『世界日報』の寄贈を辞退することになったとも記録されている。

ある団体が反社会的であると非難された場合、その団体が刊行する資料の寄贈を図書館が受けることについては、“図書館がお墨付きを与え、宣伝や布教を手伝うことになる”という批判が寄せられることもある。しかしながら、「図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館および図書館員が支持することを意味するものではない」(宣言副文)し、その団体が発行する資料は問題点を検証するための資料になりうる。

自由委員会では『図書館雑誌』掲載「こらむ」(2023年3月号)にて「被害に遭われている方々の救済と保護は速やかになされるべきである」とした上で、資料の収集・提供が萎縮することがないよう呼びかけた。

■被差別部落の地名等が掲載された資料の制限■

『人権と部落問題』2022年9月号に「和歌山県立図書館の閲覧制限をめぐる経過と問題点」と題する論考が掲載された。同館では「利用制限資料取扱要綱」(2019年3月策定)の下で、71冊の図書が被差別部落の地名等が記されていることを理由として閉架書庫に移され、閲覧希望者に、氏名・住所・電話番号・利用目的等を申請書に記入するよう求めることになった。制限対象となった学術書の著者らは措置を解除するよう要望書を提出、図書館との協議により、2022年末をもって措置が解除されることとなった。

宣言の解説書では、被差別部落の地名が掲載された資料について提供制限はありうるとしつつも、それは特定個人への差別に直結するようなケースを想定しており、やむをえず制限する場合でもより制限的でない方法によらなければならないという考えを示している。一方で、埼玉県や熊本県において2022年に施行された「部落差別の解消の推進に関する条例」の中では、同和地区の所在地を明らかにした図書や地図の提供を禁止する条文も

加えられており、これらの動きが図書館にどのような影響を与えるのか、今後の動向を注視していきたい。

■拉致問題に関する図書充実の協力等の要請■

2022年8月30日、文部科学省は各都道府県・指定都市図書館・学校図書館担当課等にあてて「北朝鮮当局による拉致問題に関する図書等の充実に係る御協力等について」という文書を発出した。8月29日付の内閣官房拉致問題対策本部から文科省総合教育政策局地域学習推進課等あての依頼文書を受けた事務連絡であったが、国からの通知として県立学校あてに文書を発出した自治体もあったという。

こうした動きに対して、全日本教職員組合(9/8)、日本出版者協議会(9/29)、図書館問題研究会(10/9)が相次いで文書の撤回を求める要請書を発表している(10/24)。日本図書館協会は10月11日に意見表明を行い、資料の充実や展示の開催については、どのようなテーマであっても外部から一律に要請されるべきではなく、地域の事情やニーズ等をふまえて各図書館が主体的に取り組むべきであり、文科省から特定分野の図書の充実を求められることが異例の事態であると同時に宣言の理念を脅かすものであるという懸念を示した。自由委員会も文書の作成に協力し、ニューズレターを通して情報共有に努めた。

■18歳被疑者の実名と顔写真報道■ 2023年6月、岐阜県・岐阜市の陸上自衛隊の射撃場にて隊員3人が撃たれ、2人が死亡するという事件が起こった。『週刊新潮』6月29日号には、陸自3人殺傷「18歳」の実名と全履歴」と題する記事が掲載され、被疑者少年の実名と顔写真も報じられた。

改正少年法では18歳・19歳を「特定少年」とし、氏名、容ぼう等により事件の被疑者であることを推知することができる報道の禁止は解除されているが、日本弁護士連合会は、捜査・審判段階での推知報道は改正法においても違法との誹りを免れないとの声明を発表している。

少年事件をめぐる推知報道については、2007年5月に発表された「加害少年推知記事の扱い(提供)について」の中で自由委員会の基本的な考え方を示している。「図書館が処罰されたり、損害賠償を命じられる場合以外は提供する」という原則は改正少年法の下であっても変更はないことを確認しておきたい。

プライバシー保護をめぐる出来事

■図書館等公衆送信サービスにかかわる利用者情報の扱い■ 2021年5月の著作権法改正を受けて図書館所蔵資料のメール送信等を可能とする仕組みづくりが進められている。不正利用を防止するため複写記録の保有やデジタル複製物のハッター等に利用者番号を入れること等が提案されているが、プライバシー保護の観点からの懸念もある。自由委員会では、2022年12月に協議に参加している著作権委員会委員長との意見交換を行い、利用者情報の保有期間を極力短くすること、利用者番号に代わるような不正利用防止策を検討すること等を要望として伝えている。

2023年5月に「図書館等における複製及び公衆送信ガイドライン」が公開され、7月には著作権委員会による説明会が開催された。不正拡散を防ぐために、複写データのハッター・フッターに利用者ID・館名・データ作成日を挿入することが求められる一方、各図書館から補償金管理協会へ実績を報告する際には、利用者情報は含めないこと、補償金支払いが済んだ段階で図書館側の送信データは削除するといった対策は取り入れられることになった。

本ガイドラインでは、利用者情報を適切かつ安全に管理するために各図書館において内部規定を設けることも求めている。サービス開始にあたっては、従来のセキュリティポリシーの見直しが必要だろう。

■『耳をすませば』の実写映画化■ 2022年10月、柘あおいの少女漫画『耳をすませば』を原案とする同名の実写映画が公開された。1995年に公開された同名のアニメ映画の10年後を描くオリジナルストーリーであるが、原作漫画やアニメ映画にみられた、“主人公の少女が借りようとする図書館の本のブックカードにはいつも同じ少年の名前がある”というシーンは本作にも回想シーンとして描かれている。

フィクションの中で、“利用者の秘密が守られない図書館”が描かれることは珍しいことではなく、“あくまでもフィクション、他の専門職もおかしな描かれ方をすることはある”という声もあるかもしれない。しかし、問題点を共有し、製作者やユーザーへ伝えることは、図書館の自由についての理解を深めていくきっかけにもなる。「こらむ」では、公開直後に(2022年12月号)この話題を取り上げ、回想シーンの時代(1989年)にあっても、記録を残さない貸出方式は公共図書館を中心に既に広がっていたことを若い世代の図書館員へ

向けて伝えている。

■ランサムウェアによるサイバー攻撃■ 2022年10月、沖縄県・那覇市立図書館が「ランサムウェア」によるサイバー攻撃に遭い、図書館システムが運用できなくなる被害を受けた。約500人の長期延滞者の情報が流出の可能性を否定できないと報じられ、貸し借りや検索、予約といったサービスが長期間停止することで資料・情報へのアクセスも制限されることになった。

自由委員会では、各図書館に対して、ウィルスの侵入経路となるメールやUSBの取り扱い、ネットワーク機器のインフラに脆弱性がないか等の点検を強化するとともに、第三者によるチェックを受けるといった対策が必要であることを「こらむ」(2023年3月号)で呼びかけた。

■マイナンバーカードによる図書館利用■ 2023年6月、宇都宮大学において、マイナンバーカードを図書館カードとして利用することが事実上の強制となっている、という批判がSNS上で寄せられた。実際にはマイナンバーカードを取得していない学生にも図書館を利用できるカードを発行していたが、HP上の記載が漏れており 誤解を招いてしまったという。

自由委員会では、2019年5月に「デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドライン」を公表し、マイナンバーカードの導入についての留意事項を記載するとともに、『「図書館の自由に関する宣言1979年改訂」解説』第3版(p.49)でも解説を新たに加えている。従来の図書館カードも利用できるようにすること、マイナンバーカード保有者だけが特別なサービスを受けられることは公平・公正な利用という観点から問題があるということを改めて確認しておきたい。

■体温測定カメラに顔画像保存■ 新型コロナウイルス感染症の5類への移行がなされた2023年5月以降、入口での体温測定を中止する施設が増えてきているが、測定カメラの中には顔画像を撮影して保存する製品もあり、大阪市内の放課後児童クラブが顔写真等が残ったままカメラをオークションで転売、落札者の指摘で事態が発覚するという出来事もあった。

図書館においても測定カメラを設置したケースは少なくない。顔画像は個人情報的一种であり、日時と結びついて保存される場合は利用事実にも当たる。今後も測定を続け、データを保存する場

合は、目的や保存期間(消去時期)等を利用者へ明示することが求められる。また、カメラを廃棄する際には記録媒体を物理的に破壊することも求められる。この問題については、『図書館の自由』(ニューズレター)2023年6月号にて取り上げるとともに、「こらむ」(9月号)でも紹介し、注意を呼びかけた。

検閲・表現の自由をめぐる動き

■少年事件記録の相次ぐ廃棄■ 2022年10月、1997年の神戸連続児童殺傷事件の記録を神戸家庭裁判所が廃棄していたことが『神戸新聞』にて報じられ、その後も重大事件とされる少年事件記録が各地の家庭裁判所で廃棄されていた事実が次々と判明した。

こうした事態を受けて、最高裁は全ての事件記録の廃棄を一時的に停止するよう指示、2023年5月に発表された報告書では、最高裁の不適切な対応が廃棄の原因になったという指摘もなされた。

報道によると、事件記録が廃棄された大きな要因としては保存スペースの問題があったという。事件の記録は再発防止にも被害者や家族の支援にも必要であり、民主主義を支える知的資源である。狭隘化等に悩む図書館にも共通の課題として受け

止めたい。

■香港で風刺作品を図書館から撤去■ 香港国家安全維持法の施行から3年、現政権に批判的な新聞の発行停止や編集者の逮捕が続いている。2023年5月には、有力紙『明報』の風刺漫画の連載が打ち切れ、作者である尊子氏の書籍が公立図書館から撤去されるという出来事もあった。香港での言論の自由への弾圧は日々強まっており、図書館への影響も含めて今後も動向を注視したい。

出版をめぐる動き—販売中止・回収・異議

■書籍の販売中止/回収■ 2023年3月、宝島社は『認知バイアス見るだけノート』について、『認知バイアス事典』の監修者から盗用と指摘を受けて書店から回収した。2023年4月、講談社は『ゲームの歴史』について、「事実誤認と情報元が確認できない箇所」が多数あったとして回収を公表した。図書館への直接的な回収要請はなかったが、知る自由の保障を使命とする図書館においては、これらの出版をめぐる動きに対して、安易な自己規制に陥ることがないように留意したい。

※参加者はプリントして持参してください。

2. 自由宣言のある風景

北茨城市立図書館 (茨城県)



2016年6月開館。円形を生かしたやさしい雰囲気と、そばを流れる大北川に向かって開かれた開放的な閲覧スペースが印象的な図書館です。1階は児童開架、雑誌コーナーとカフェ、2階が一般開架となっています。2階に上がる際、多くの人利用するエレベーターの横に、「図書館の自由に関する宣言」が掲げられています。宣言を知ってもらうには、うってつけの場所だと感じました。

須賀川市中央図書館（福島県）

須賀川市中央図書館、3階のメインライブラリーのカウンター前の展示架と一体化した「図書館の自由宣言」です。図書館は「須賀川市民交流センター・tette（テッテ）」の2~4階にあります。

センター5階は円谷英二ミュージアム、4階は体操や音楽のスタジオのある「うごく・かなでるスペース」、2階は「子どもセンター」（子育て支援施設）がありますが、それぞれの機能に合わせて図書館の本が配架されています。図書館とそれぞれの施設が融合しているのが特徴です。1階は市民活動サポートセンター・広場です。各フロアの通路にも検索機やセルフ貸出機が設置されています。

市民の知りたい気持ちを大切にしている図書館だと感じました。

2019年1月に移転開館

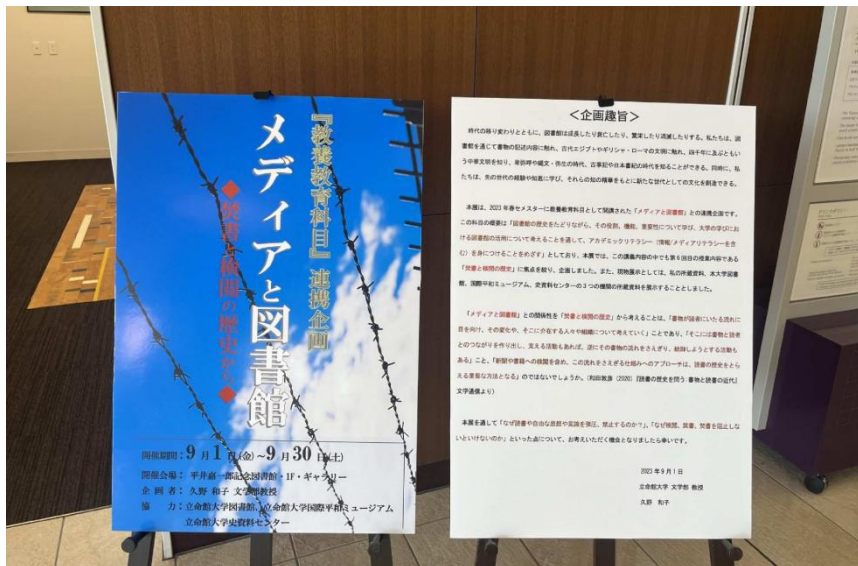


3. 立命館大学平井嘉一郎記念図書館における焚書と検閲の歴史についての展示

立命館大学文学部 久野和子

2023年の9月1日（金）から30日（土）まで、立命館大学衣笠キャンパス平井嘉一郎記念図書館1階ギャラリーにおいて、教養教育科目連携企画「メディアと図書館－焚書と検閲の歴史から」を開催しました。本展は、「メディアと図書館」の講義の責任担当者である筆者が企画し、国際平和ミュージアム、立命館大学史資料センターの協力を得て、立命館大学図書館が主催したものです。10月以降は、引き続き本学高槻キャンパス図書館などでも開催される予定です。

「メディアと図書館」は主に各学部の1, 2回生が履修する教養教育科目です。オンデマンド型の新しい



形態の授業で、前期3クラス、後期2クラス開講されており、各クラス100~300名の履修者がいます。授業では、図書館の歴史および図書館が人間の知的活動において果たしてきた重要な役割と機能、そして、記録メディアの歴史および近代の記録メディアの特徴と課題について学びます。さらに、そうした学びを通して、実際に大学図書館で適切な情報資源を探索し、活用できる情報・メディアリテラシーの育成を図っています。全部

で 15 回の授業では足りないくらいの充実した内容なので、「焚書と検閲の歴史」については 1 回分の授業しかあてられません。ですので、受講生にもっと深く学んでもらうとともに、他の学生や教職員にも広く知ってもらいたいと願い、今回、図書館での展示を企画しました。

展示では、よく知られている『華氏 451 度』『ピノキオ』『ちびくろサンボ』『はだしのゲン』『鉄腕アトム』の解説パネルと現物の図書のほか、最近の検閲と関連する事例として、齊加尚代『教育と愛国』（岩波書店、2019）、桐野夏生『日没』（岩波書店、2000）も紹介しました。



展示室の入口正面のもっとも目立つところに、額装された「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会 1979 改訂）を掲示しました。毛筆で力強く書かれた「自由宣言」は、多くの方々に強い印象を与えたようです。今回、何人かの方々に誰が筆耕したのかと質問を受けました。色々問い合わせたのですが、平井嘉一郎記念図書館の建設にあたって取り壊された古い図書館に掲示されていたものを、司書課程室でもらい受けたということまでは判明したのですが、残念ながら誰の手によ

るものかはついに分かりませんでした。「図書館の自由」とは、古くは、1939 年 ALA(American Library Association: アメリカ図書館協会)「図書館の権利憲章」(Library Bill of Rights) に由来するので、その英語原文と日本語訳もパネルで紹介しました。

近年は、図書の検閲・禁書などのほか、教科書への検閲や抗議、教育委員会の任命制導入、日本学術会議の任命拒否などの問題が次々と起きていますが、教育や学問、そしてメディアがそうした権力の圧力に負けないために、図書館は知的自由の最後の砦として、図書館の自由を守っていかなくてはならないと思います。地域に根差す情報センターであり、人類の叡智の集積であり、民主主義の基盤である図書館は、今こそ重要な役割を果たす時なのではないでしょうか。

付記：展示のパネル解説・作成は主に立命館大学学術情報部図書館利用支援課の干場利則氏によるものです。ここに改めて感謝申し上げます。

企画展のウェブページ：立命館大学図書館 > 展示 > 平井嘉一郎記念図書館・9 月開催企画展の御知らせ
2023 年 9 月 4 日 https://www.ritsumei.ac.jp/lib/exhibition/article/?news_id=1386

4. 図書館の自由・表現の自由をめぐる記事紹介

(1) マイナンバーカードを活用した電子図書館サービス

2023 年 9 月、「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用した取り組みとして、マイナンバーカード取得者専用の電子図書館サービスがスタートするとの報道があった。スマートフォンのアプリ「xID」でのマイナンバーカード認証をメディアドゥの電子図書館事業「OverDrive Japan」と連携し、電子図書館の利用登録の完全オンライン化を実現するもので、福島県昭和村、岐阜県美濃市、茨城県五霞町で導入するという。

利用者を限定してのサービスの提供については、電子図書館でしか利用できない資料を読みたい・調べてほしいという要望がカードをもたない住民からあった場合どうするか、署名用電子証明書を利用できない 15 歳未満の利用を保障しなくてもよいのかなど、公正な利用という観点からみて課題があるように思われる。

一方、同じ交付金を活用していても福島県昭和村ではカードを取得していない住民も同村の公式 LINE か

ら利用登録することが可能となっている。自治体ごとにサービスの位置づけに違いもあると思われるが、「図書館の自由」の問題として注視していきたい。

※関連記事

- ・ 臼田勤哉「マイナカードで電子図書館の利用登録をオンライン化 メディアドウと xID」『Impress Watch』2023.09.07. 11:51. <https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/1529493.html>
- ・ 「マイナカード取得者専用の電子図書館、10月導入 岐阜・美濃市、普及促進図る」『岐阜新聞 Web』2023.09.10. 08:37. <https://www.gifu-np.co.jp/articles/-/281466>
- ・ 「24時間いつでも、昭和村に電子図書館 マイナでアプリ認証、全国初」『福島民友新聞みんゆう Net』2023.09.28. 08:40. <https://www.minyu-net.com/news/news/FM20230928-808363.php>
- ・ 「マイナンバーカード活用の電子図書館 福島県昭和村に10月1日開館 全国のモデルに」『福島民報』2023.09.28. 09:42. <https://www.minpo.jp/news/detail/20230928110871> <https://archive.is/JZL4l>
[村内のマイナンバーカード普及率は8月末現在、73.7%。カードを持っていなくても村公式LINEを利用して登録できる。LINE登録での利用は、村民だけでなく村内事業所の通勤者も対象]
- ・ 「「昭和村電子図書館」が10月1日に開館」『昭和村ニュース』2023.10.01. <https://www.vill.showa.fukushima.jp/news/4465/>
- ・ 「昭和村 全国初 マイナカード活用した電子図書館 運用開始」『NHK NEWS WEB』2023.10.02. <https://www3.nhk.or.jp/lnews/fukushima/20231002/6050024112.html>
- ・ 「昭和村（福島県）、「昭和村電子図書館」をオープン：マイナンバーカードを活用したアプリ認証でサービス登録・ログインを完全オンライン化」『カレントアウェアネス-R』2023.10.10. <https://current.ndl.go.jp/car/193899>
- ・ 「美濃市電子図書館がオープンしました」『美濃市図書館』2023.10.11. <https://www.lib.city.mino.gifu.jp/docs/676326.html>
- ・ 「美濃市（岐阜県）、「美濃市電子図書館」をオープン：マイナンバーカードを所有する市民が利用可能」『カレントアウェアネス-R』2023.10.12. <https://current.ndl.go.jp/car/193982>
- ・ 「全国初・マイナンバーカードを活用した電子図書館サービス、福島県昭和村、岐阜県美濃市で10月より利用開始」『Media Do』2023.10.13. <https://mediado.jp/service/6341/>
- ・ 「マイナンバーカードを利用した電子図書館サービス【構築】デジタル田園都市国家構想交付金を活用し令和5年12月スタート予定」『五霞町』 <https://www.town.goka.lg.jp/gyousei/machizukuri/digitalization/page005126.html>

(2) 『テロと産廃 御嵩町騒動の顛末とその波紋』の収集と提供をめぐる

『テロと産廃 御嵩町騒動の顛末とその波紋』（杉本裕明著）については、本誌116号と117号で紹介したように、町長がうそ本と評価した発言により、2021年3月から著者からの寄贈受入れを保留していた御嵩町立図書館は、翌年3月の町議会での指摘があり、教育委員会での検討を経て4月同書の貸出を開始した。

2022年5月、著者は受贈を1年間保留にされ、名誉毀損、精神的苦痛を受けたとして町に1万1千円の損害賠償を求め岐阜地裁に提訴していたが、町長の交代もあり、2023年10月6日付けで和解が成立した。御嵩町が10月11日にホームページに公開した「和解の趣旨」は以下のとおり。

和解の趣旨

①原告からの本件図書寄贈から閲覧等の開始まで約1年に及ぶ事態になったことに鑑み、被告は、被告図書館の運営について、今後は、表現・出版・図書閲覧等の自由が確保されることを目指し、図書寄贈等の受け入れの基準と手続きを明確化・透明化し、それを教育委員会に報告するとともに、被告図書館に掲げられている「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会）の遵守に努める。

②被告発行の「ほっとみたけ」2022年6月号31頁に掲載した「町長月記134」の記事（以下「本件記事」という。）中、原告について言及した箇所の中で、原告の名誉を毀損した表現があったことについて、あらためて被告は原告に対し、本件記事中に、原告の名誉を毀損する表現があったことについてお詫びする。

- ③原告は、その余の請求を放棄する。
- ④原告と被告は、原告と被告との間には、本件に関し、この和解条項に定めるもののほか、何らの債権債務がないことを相互に確認する。
- ⑤訴訟費用は各自の負担とする。

※関連記事

- ・「御嵩町立図書館の貸し出し保留問題、著者と町が和解へ 岐阜地裁損害賠償訴訟」『中日新聞』2023.10.05. 05:05. <https://www.chunichi.co.jp/article/782418>
- ・「御嵩町産廃処分場関連本の著者と町が和解 「今後は図書館手続きを明確化」」『中日新聞』2023.10.06. 19:10. <https://www.chunichi.co.jp/article/783800>
- ・「産廃処分場書籍訴訟 岐阜・御嵩町と著者が和解「手続き明確化」『毎日新聞』2023.10.06. 21:44. <https://mainichi.jp/articles/20231006/k00/00m/040/290000c>
- ・「図書館寄贈本の閲覧不可を巡る訴訟、岐阜・御嵩町と著者が和解」『朝日新聞デジタル』2023.10.07. 10:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRB67GQFRB60HGB001.html>
- ・「産廃関連本 図書館対応問題 著者と御嵩町和解 /岐阜」『毎日新聞』2023.10.08. <https://mainichi.jp/articles/20231008/ddl/k21/040/083000c>
- ・「損害賠償請求事件に係る原告との和解について」『御嵩町』2023.10.11. <https://www.town.mitake.lg.jp/news/news0065709/>

(3) 米国の検閲・禁書

2021年以降、全米の学校図書館や公共図書館において、特定の資料を排除しようとする検閲・禁書の動きが増加している。2023年は、8月までの閲覧制限の申立てがデータの集計開始以来最多だった2022年を20%上回るペースで、なかでも公共図書館における申立ての割合が前年同期間の16%から49%に増加している。対象となっているのは、おもにLGBTQIA+や有色人種の人によって書かれたもの、あるいはこれらのテーマを扱ったものである。こうした状況に対して米国図書館協会(ALA)が中心となり、検閲に反対するさまざまな取り組みを行っている。

※関連記事

- ・「北米の都市図書館協議会(ULC)、民主主義を守るための公共図書館の取組を概説した“Libraries as Cornerstones of Democracy”を公開」『カレントアウェアネス-R』2023.07.02. <https://current.ndl.go.jp/car/185810>
- ・(アングル)「声上げるLGBTQ+の作家、米教育現場の禁書に抗議」『ロイター』2023.07.08. 018:36 <https://jp.reuters.com/article/usa-education-books-idJPKBN2YL080>
[マイア・コベイブ氏は2019年にグラフィックノベル「ジェンダー・クィア」を出版した際、このような激動が待ち構えているとは思ってもいなかった。3年後の今、この作品は国内で禁書の指定が最も多い著作になっている。]
- ・「米・EveryLibrary、図書館に影響を与える2023年の州法案についてまとめた報告書“Unpacking 2023 Legislation of Concern for Libraries”を公開」『カレントアウェアネス-R』2023.07.04. <https://current.ndl.go.jp/car/184663>
- ・「「発禁本」や「図書館での取扱を禁止する本」が2倍に増加、一体どうして発禁指定されるのか？」『Gigazine』2023.07.07. 06:00. <https://gigazine.net/news/20230707-banned-books/>
[書籍の発禁(発売・頒布禁止)処分の試みがアメリカ全土で急増]
- ・「米国図書館協会(ALA)と米国出版社協会(AAP)、1953年の「読書の自由」声明を再確認:書籍に関わる業界のメンバーに賛同を呼びかけ」『カレントアウェアネス-R』2023.07.14. <https://current.ndl.go.jp/car/185105>
- ・「米国のオバマ元大統領、読書の自由を守るために尽力している全米の図書館員に感謝の意を表明するオープンレターを公開」『カレントアウェアネス-R』2023.07.17. <https://current.ndl.go.jp/car/185267>
- ・「学校図書館が「ChatGPT」で書籍にセックス描写があるか確認したことが発覚、実際に19作品が禁書

- へ」『Gigazine』2023.08.16. 13:05. <https://gigazine.net/news/20230816-school-chatgpt-book-ban/>
[アメリカ・アイオワ州メイソンシティを中心とした地域に教育を提供するメイソンシティ・コミュニティ学区が、学校の図書館に置かれている本に性行為の描写が含まれていないことを要求する新法に対応するため、ChatGPT を用いて本の内容の確認を行ったことがわかりました。]
- ・「閲覧制限の申立て (book challenge) が米国の学校司書に及ぼす影響 (記事紹介)」『カレントアウェアネス-R』2023.08.31. <https://current.ndl.go.jp/car/192034>
 - ・「米国図書館協会 (ALA)、2023 年の閲覧制限の申立て (book challenge) に関する暫定データを公開：公共図書館における申立てが急増」『カレントアウェアネス-R』2023.09.26. <https://current.ndl.go.jp/car/193423>
 - ・「米国で 2023 年の禁書週間が始まる (10/1-7) : テーマは “Let Freedom Read!”」『カレントアウェアネス-R』2023.10.02. <https://current.ndl.go.jp/car/193573>
 - ・「PEN America、米国の公立学校における 2022-2023 年の禁書の動向に関する報告書を公開」『カレントアウェアネス-R』2023.10.02. <https://current.ndl.go.jp/car/193563>
 - ・「< 第 8 回 > 近年米国で急増している禁書と、それに対抗する「禁書週間」」『NY ジャピオン』2023.10.05. <https://www.ejapion.com/community/53067/>
 - ・「コミュニティの要である図書館に「禁書」の受難 多様性を認める価値観への反発が強まっている」『東洋経済 ONLINE』2023.10.08. <https://toyokeizai.net/articles/-/706324>
 - ・「米・EveryLibrary Institute、公共図書館と禁書に対する保護者の認識に関する調査報告書を公開」『カレントアウェアネス-R』2023.10.10. <https://current.ndl.go.jp/car/193901>
 - ・「米・ボストン公共図書館、検閲に対抗する取組である “Books Unbanned” に参加」『カレントアウェアネス-R』2023.10.11. <https://current.ndl.go.jp/car/193922>
 - ・「米・ニューヨーク公共図書館、反検閲キャンペーン “Books For All: Protect the Freedom to Read” を開始」『カレントアウェアネス-R』2023.10.18. <https://current.ndl.go.jp/car/194255>
 - ・「児童向け絵本を「性的」審査の対象にした図書館、理由は著者の姓が『ゲイ』だから」『FRONTROW』2023.10.26. <https://front-row.jp/ct/17663246>
 - ・「SAGE 社、学問の自由や検閲に関する無料閲覧可能なコレクションを公開」『カレントアウェアネス-R』2023.10.27. <https://current.ndl.go.jp/car/194678>

(4) 被差別部落の地名公開

インターネット上に被差別部落の地名や個人宅をさらし、人権を侵犯する事案が増え続けているという。2016 年には部落差別解消推進法が施行されており、法務省もプロバイダー等に被差別部落の地名削除を要請する対応をとってきた。ところが、要請に強制力がなく、日本特有の被差別部落の問題は海外事業者には理解されにくいことから、十分な成果は上がっていない。

この問題に関連して、2023 年 6 月 28 日に「全国部落調査」の復刻出版を巡る損害賠償請求訴訟の高裁判決があり、「差別されない人格的利益」を初めて認める旨の判示があった。当事者や関係団体は、このような司法判断を追い風に、被差別部落の地名拡散に対してより実効性の高い法整備がなされることを求めている。

※関連記事

- ・「ネット上に同和地域撮影の動画 部落解放同盟、削除求め提訴準備」『毎日新聞』2023.07.29. <https://mainichi.jp/articles/20230729/k00/00m/040/236000c>
- ・「「差別されない権利」認める 「全国部落調査」裁判、東京高裁も地名一覧公表差し止め」『週刊金曜日』2023.07.16. <https://www.kinyobi.co.jp/kinyobinews/2023/07/16/antena-1292/>
- ・「部落地名裁判で東京高裁が初認定 「差別されない人格的利益」の意義」『朝日新聞デジタル』2023.09.01. 17:00. <https://www.asahi.com/articles/ASR805WYYR8VUPQJ005.html>
- ・(記者解説)「差別されない権利 部落問題で高裁判決、明確な禁止法課題 編集委員・北野隆一」『朝日新聞デジタル』2023.09.04. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15732541.html>

- ・「被差別部落の人権侵害の投稿、過去最多の 400 件超…削除要請には 4 割が未対応」『読売新聞オンライン』2023.09.04. 07:41. <https://www.yomiuri.co.jp/national/20230904-OYT1T50034/>
- ・「「差別されない権利」認めた高裁判決の意義とは 後を絶たないネット上の人権侵害」『東京新聞 TOKYO Web』2023.09.25. 12:00. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/279496>
[被差別部落の地名公開差し止め訴訟で／ハイト止める第一歩となるか]
- ・「“被差別部落の晒し” ネットと SNS で暴走しやすい? 「就職も交際もダメに」 被害を受けた当事者と考える差別の歴史と学び方」『ABEMA TIMES』2023.09.30. 11:30.
<https://times.abema.tv/articles/-/10097508>

5. 新聞・雑誌記事スクラップ

(雑誌、新聞の別に日付順に配列。テーマにより適宜まとめている。有料会員限定記事や公開期間経過によるリンク切れの記事もあるが、見出し情報としてそのまま掲載した。)

2023 年 7 月

- ・千錫烈(こらむ図書館の自由)「ユネスコ公共図書館宣言 2022」『図書館雑誌』vol.117, no.7, 2023.07, p.383. <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/640/default.aspx#202307>

生成 AI

- ・「県が「生成 AI」ガイドライン策定で積極的な利用を職員に促す」(石川 NEWS WEB)『NHK』2023.07.12. 10:48. <https://www3.nhk.or.jp/lnews/kanazawa/20230712/3020015821.html>
- ・「グーグルは AI 学習で個人データ不正利用、市民が集団訴訟」『ロイター』2023.07.12. 09:29.
<https://jp.reuters.com/article/alphabet-ai-lawsuit-idJPKBN2YS010>
- ・「生成 AI の G7 首脳テレビ協議、今秋にも開催へ 岸田首相が表明」『毎日新聞』2023.07.13. 22:46.
<https://mainichi.jp/articles/20230713/k00/00m/010/410000c>
- ・「都 生成 AI「ChatGPT」を来月にも全部局で導入へ」(首都圏 NEWS WEB)『NHK』2023.07.15. 06:22.
<https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20230715/1000094825.html> <https://archive.is/o7Ew8>
- ・「株式会社カーリル、ChatGPT を活用した蔵書検索サポーターの実証実験を開始することを発表」『カレントアウェアネス-R』2023.07.31. <https://current.ndl.go.jp/car/185967>

有害図書/青少年条例

- ・「科学的根拠ない「萌え広告」規制はダメ 議員になった漫画家の警鐘」『毎日新聞』2023.07.02. 18:00. <https://mainichi.jp/articles/20230629/k00/00m/040/256000c>
[2022 年 7 月の参院選で比例代表候補最多の約 53 万票を集めて初当選した赤松健氏(自民) 規制の盲点明らかに／もっと信用してほしい／「日本らしさ」世界からリスペクト]
- ・「性表現は「理性的な基準で吟味を」 憲法学者がみた有害図書規制」『毎日新聞』2023.07.03. 18:00.
<https://mainichi.jp/articles/20230630/k00/00m/040/128000c>
[表現の自由に詳しい憲法学者の志田陽子・武蔵野美術大教授]
- ・「形骸化する「不健全図書」の審議会 “中の人” がみた不公平な仕組み」『毎日新聞』2023.07.07. 18:00. <https://mainichi.jp/articles/20230705/k00/00m/040/225000c>
[元東京都議で、都の不健全図書(有害図書)を審査する審議会委員を務めた栗下善行氏／実質、都職員の選別で「不健全」に／「不健全」の名称は誤解を招く]
- ・「性表現はなぜ、子どもに見せてはいけないとされるのか 専門家に聞く」『毎日新聞』2023.07.08. 18:00. <https://mainichi.jp/articles/20230705/k00/00m/040/237000c>
[性表現規制の歴史に詳しい法政大の白田秀彰准教授(情報法)]
- ・「なぜ不健全図書を規制するのか 「必要」と主張する審議会委員に聞く」『毎日新聞』2023.07.19. 18:00. <https://mainichi.jp/articles/20230714/k00/00m/040/111000c>
[都の審議会委員の 1 人で都公立中学校 PTA 協議会顧問の井門明洋さん(61)]

言論の自由/表現の自由

- ・「「大手マスコミは私の声を無視するかもしれない」 共同通信の元記者が会社提訴...特派員協会で見した理由」『J-CAST NEWS』2023.07.24. 18:26. <https://www.j-cast.com/2023/07/24465734.html>
[著書で長崎新聞を批判したことが問題に／司法記者クラブで会見すれば「大手のマスコミは私の声を無視するかもしれない」／いじめ事件で取材した内容を書籍にまとめて出版したことをめぐ
る共同通信社の対応で表現の自由や財産権を侵害されたとして、共同通信元記者の石川陽一氏が
2023年7月24日、共同側に550万円の損害賠償を求める訴訟を東京地裁に起こした。]

北海道警ヤジ排除

- ・「道警やじ排除、敗訴男性が上告 札幌」『JIIJ.COM』2023.07.05. 17:32.
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2023070500780&g=soc>
- ・「北海道警やじ訴訟で上告 札幌高裁で逆転敗訴の男性」『産経新聞』2023.07.05. 15:59.
<https://www.sankei.com/article/20230705-6WEYQJN5URPFHPBECT7W5DDB5U/>
- ・「やじ排除訴訟、道警側も上告」『JIIJ.COM』2023.07.06. 17:57.
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2023070600933&g=soc>
- ・「北海道警ヤジ訴訟、道警側が上告 賠償責任認めた高裁判決に不服」『朝日新聞デジタル』
2023.07.06. 19:07. <https://www.asahi.com/articles/ASR76678CR76IIE01C.html>

香港

- ・「抗議デモ歌の禁止令認めず 「萎縮効果」指摘—香港高裁」『JIIJ.COM』2023.07.28. 19:45.
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2023072801239&g=int>

コーラン焼却

- ・(社説)「冒涇と表現の自由 宗教的価値の認識を深める(7月26日付)」『中外日報』2023.07.28.
10:28. <https://www.chugainippoh.co.jp/article/editorial/20230726.html>
- ・ヨシ・メケルバーグ「聖書焼却は政治的言論から追放されるべきだ」『ARAB NEWS JAPAN』2023.07.28.
03:07. https://www.arabnews.jp/article/opinion/article_96031/
- ・「コーラン侮辱禁止を検討 デンマーク外相」『共同通信』2023.07.31.
<https://nordot.app/1058549184946308035>

ハイトスピーチ/ネット中傷

- ・(論点)「ハイトスピーチ解消法7年」『毎日新聞』2023.07.28.
<https://mainichi.jp/articles/20230728/ddm/004/070/011000c>
- ・「「タヒは死で危害を告知」とハイトスピーチ認定 川崎市が削除要請へ」『朝日新聞デジタル』
2023.07.26. 19:00. <https://www.asahi.com/articles/ASR7V5J8XR7VULOB01R.html>
- ・「過激ポーズ禁止、マイクロビキニや貝殻水着も…イラストで例示 埼玉の水着撮影会、再開へ 無視
したら中止」『埼玉新聞』2023.07.20. 11:47.
<https://www.saitama-np.co.jp/articles/36895/postDetail>
- ・「ハイトスピーチ対策部署の設置要望 公明党、官房長官に」『日本経済新聞』2023.07.27. 16:45.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UA276JQ0X20C23A7000000/>
- ・「大阪府、ネット上の差別対策強化 条例改正案提出へ」『共同通信』2023.07.29.
<https://nordot.app/1057905946644185681>
- ・石橋学「ハイトデモのための公園使用不許可の川崎市処分は「適法」 人権侵害防ぐ行政施策を後押し
する判決」『週刊金曜日オンライン』2023.07.28. 17:15.
<https://www.kinyobi.co.jp/kinyobinews/2023/07/28/antena-1299/>

SNS/巨大IT企業

- ・「米地裁、ソーシャルメディア上の「偽情報」排除巡り政府に違憲の判断」『ダイヤモンド・オンライ
ン』2023.07.05. 07:10. <https://diamond.jp/articles/-/325638>
- ・「米政府と巨大IT企業の接触を一部制限 連邦判事が仮差し止め命令」『朝日新聞デジタル』
2023.07.05. 10:55. <https://www.asahi.com/articles/ASR753HRSR75UHBI00B.html>
- ・「巨大ITの個人情報収集、欧州委が調査手続き改正」『ロイター』2023.07.05. 15:35.

<https://jp.reuters.com/article/eu-tech-privacy-idJPL6N38R04J>

- ・ (社説) 「米最高裁判決 対立と不信 深化を憂う」『朝日新聞デジタル』2023.07.05. 05:00.
<https://www.asahi.com/articles/DA3S15678990.html>

個人情報保護/利用

- ・ 「介護施設の 3 割、遠隔カメラ設置 5 割以上が「事故検証に効果」」『共同通信』2023.07.15.
<https://nordot.app/1052749215564054926?c=302675738515047521>

マイナンバーカード

- ・ 「マイナンバー問題 デジタル庁に近く立ち入り検査 個人情報保護委」『毎日新聞』2023.07.07. 17:14.
<https://mainichi.jp/articles/20230707/k00/00m/040/239000c>
- ・ 「マイナカード問題、デジタル庁に立ち入り検査を検討…政府の個人情報保護委」『読売新聞オンライン』2023.07.07. 11:37. <https://www.yomiuri.co.jp/politics/20230707-OYT1T50097/>
- ・ 「マイナンバー総点検完了時期、8 月公表 河野デジタル相」『産経新聞』2023.07.10. 18:08.
<https://www.sankei.com/article/20230710-VQ2GPLVNRJKE5CXTNTPDHL4HEI/>
- ・ 「「デジ庁の報告書、要求に達していない」 マイナ巡り個人情報保護委」『朝日新聞デジタル』2023.07.11. 15:33. <https://www.asahi.com/articles/ASR7C4RSXR7CULFA00S.html>

2023 年 8 月

- ・ 鈴木章生 (こらむ図書館の自由) 「サーマルカメラの記録の点検を」『図書館雑誌』vol.117, no.8, 2023.08, p.443. <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/640/default.aspx#202308>
- ・ 「連載 50 年、ゲンは今も問う 教材外され売り上げ増/手に取りやすい環境を」(記者サロン)『朝日新聞デジタル』2023.08.07. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15710310.html>
- ・ 「誤情報に対する大学図書館員の視点: 追跡調査と比較研究(文献紹介)」『カレントアウェアネス-R』2023.08.09. <https://current.ndl.go.jp/car/190124>
- ・ 「インターネットアーカイブが敗訴で電子図書館の貸出に大きな制限がかかる見通し、インターネットアーカイブ側は控訴する予定」『Gigazine』2023.08.14. 13:45.
<https://gigazine.net/news/20230814-internet-archive-library-appeal/>
- ・ 「Internet Archive (IA) と Hachette Book Group ら大手出版社 4 社、判決結果を受けた共同提案書を提出」『カレントアウェアネス-R』2023.08.17. <https://current.ndl.go.jp/car/190385>
- ・ (社説) 「国葬名簿黒塗り 情報は「公開」が原則だ」『東京新聞 TOKYO Web』2023.08.24. 07:53.
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/272177>
- ・ 「図書館はバストセラー買すぎ? ルール作り検討へ 「板挟み」の声も」『朝日新聞デジタル』2023.08.27. 18:00. <https://www.asahi.com/articles/ASR8W4RKDR8QUTIL035.html>
- ・ 「図書館の人気本所蔵、どこまで 自民議連「書店支援」提言、国が議論へ」『朝日新聞デジタル』2023.08.28. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15726716.html>
- ・ 「蔵書購入、ルール必要? 自民議連「人気のある本に偏重」 図書館「予算減り過剰複本無理」」『朝日新聞デジタル』2023.08.28. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15726739.html>

戦争と情報/図書館

- ・ (耕論) 「情報戦の世界 桑原響子さん、一田和樹さん、貴志俊彦さん」『朝日新聞デジタル』2023.08.04. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15708272.html>
[民主主義守る対策、官民で 桑原響子さん(日本国際問題研究所研究員) / AI が陰謀論あおる未来 一田和樹さん(作家、元サイバーセキュリティー情報会社社長) / 国民鼓舞した戦争の教訓 貴志俊彦さん(歴史学者)]
- ・ 「戦後 78 年 - 記憶をつなぐ 3 戦時ポスターは「語り部」」『読売新聞オンライン』2023.08.11. 05:00.
<https://www.yomiuri.co.jp/local/nagano/feature/C0067596/20230811-OYTAT50006/>
[元村長保管 全国に貸し出し/戦時中に国や軍が作成した大量のプロパガンダポスターが、阿智村に残されている・・・]
- ・ 「戦後 78 年 記憶をつなぐ 4 閲覧禁止 図書館に目録」『読売新聞オンライン』2023 年 8 月 12 日

05:00. <https://www.yomiuri.co.jp/local/nagano/feature/C0067596/20230812-OYTAT50010/>

[対象 400 冊展示／後世に教訓 県立長野図書館 (長野市) には、戦時中に国の検閲により閲覧が禁止された戦前戦中の書籍約 400 冊が保管され、来館者が手に取ることができる・・・]

韓国 検閲に反対

・「韓国図書館協会 (KLA) など、「図書館に対する一切の検閲の反対と、知的自由を守るための声明書」を発表」『カレントアウェアネス-R』2023.08.07. <https://current.ndl.go.jp/car/190051>

有害図書/青少年条例

- ・ (論点) 「「有害図書」規制／上」『毎日新聞』2023.08.309.
<https://mainichi.jp/articles/20230809/ddm/004/070/012000c>
[規制が表現物や作者、社会にどのような影響を与えるのかマンガ家の森川ジョージさんと里中満智子さんに聞いた]
- ・ (論点) 「「有害図書」規制／下」『毎日新聞』2023.08.11.
<https://mainichi.jp/articles/20230811/ddm/004/070/017000c>
[思考誘導あってはならない 志田陽子 武蔵野美術大教授]

コーラン焼却

- ・「北欧 2 カ国、イスラム諸国との緊張緩和を模索 コーラン焼却で」『ロイター』2023.08.01. 08:59.
<https://jp.reuters.com/article/koran-protests-denmark-sweden-idJPKBN2ZB1PF>
- ・二村伸「表現の自由か冒涇か 対立をどう乗り越えるか」『NHK・解説委員室』2023.08.01.
<https://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/100/486313.html>
- ・「情報 BOX: コーラン焼却事件に揺れるスウェーデンとデンマーク」『ロイター』2023.08.04. 13:01.
<https://jp.reuters.com/article/koran-sweden-denmark-idJPKBN2ZF06M>
- ・「コーラン焼却不許可も スウェーデン政府が検討」『共同通信』2023.08.19.
<https://nordot.app/1065406870046540561>
- ・「スウェーデン コーランに侮辱行為相次ぎ 規制に向け検討開始」『NHK NEWS WEB』2023.08.22. 09:42
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230822/k10014169861000.html>

ハイトスピーチ/ネット中傷

- ・「X、英非営利団体を提訴 ハイトスピーチ調査に反発」『日本経済新聞』2023.08.02. 05:33.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0GN01DUYOR00C23A8000000/>
- ・「差別的書き込み削除を 川崎の在日コリアン女性が法務局に被害申告」『毎日新聞』2023.08.10. 21:00. <https://mainichi.jp/articles/20230810/k00/00m/040/395000c>
- ・「ネット差別・中傷被害者支援の条例拡大 大阪府は削除要請も 「表現の自由」侵害に懸念」『産経新聞』2023.08.26. 18:32. <https://www.sankei.com/article/20230826-ZPUUJBJTJOAN064GAD5CPOJGY/>

個人情報保護/利用

- ・「G20 デジタル経済相会合 “プライバシーの保護優先” で一致」『NHK NEWS WEB』2023.08.20. 06:38.
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230820/k10014168131000.html>
- ・「米当局、個人情報の「データブローカー」の規制を強化へ」『Forbes JAPAN』2023.08.17.
<https://forbesjapan.com/articles/detail/65338>
[米消費者金融保護局 (CFPB) は、企業に米国民のデータを提供するデータブローカーに対する規制の強化を計画している]

マイナンバーカード

- ・ (社説) 「マイナ中間報告 個人情報を軽んじたツケ」『信濃毎日新聞デジタル』2023.08.10. 09:31.
<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2023081000153>
- ・「マイナ不安払拭、総点検・再発防止の両輪で 保険証で新たに 1069 件不備 確認膨大、自治体に負担」『日本経済新聞』2023.08.09. 02:00.
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ073467190Y3A800C2EA2000/>

- ・木俣正剛「デジタル庁より「デジタル監視庁」を創設せよ」『ダイヤモンドオンライン』2023.08.17. 14:00. <https://diamond.jp/articles/-/327733>
[マイナンバー騒動が「人為的ミス」で片付けられる怪しさ／横浜市の個人情報漏洩事故に見る「処罰」の甘さ／「明らかにおかしい」政治と業者の癒着を疑う国民／真のデジタル化を進めるなら「デジタル監視庁」を創設せよ]

2023 年 9 月

- ・津田さほ(こらむ図書館の自由)「図書館カードの家族利用を考える」『図書館雑誌』vol.117, no.9, 2023.09, p.559. <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/640/default.aspx#202309>
- ・「呉三津田高と戸手高の図書館、赤木かん子氏の助言受けず改装へ 広島県教委」『中国新聞デジタル』2023.09.25. <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/364616>
- ・「不登校対策でも赤木かん子氏の助言 広島県教委 教育長と関係深い児童文学評論家 「専門外」起用に疑問の声」『中国新聞デジタル』2023.09.26. <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/365137>
- ・「「差別しない」図書館の存在意義=川上珠実(ニューデリー)」『毎日新聞』2023.09.27. 10:00. <https://mainichi.jp/articles/20230921/k00/00m/030/203000c>
[カーストによる差別に反対する市民団体「コミュニティー図書館プロジェクト」運営の図書館]
- ・(取材考記)宮田裕介「経営難で自民に接近 書店は言論機関の自覚を」『朝日新聞デジタル』2023.09.28. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15754257.html>

言論の自由/表現の自由

- ・「防衛省、情報公開を不当に狭める 審査会「改めて開示決定を」」『朝日新聞デジタル』2023.09.11. 21:30. <https://www.asahi.com/articles/ASR9C6HCSR99UTFK00P.html>
- ・「批判が殺到「中華民族の感情を害する」服着たら罰金 10 万円法案 専門家「あいまい規定で自由を侵害」」『東京新聞 TOKYO Web』2023.09.13. 20:28. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/277169>
- ・「「たかがヤジ排除、行き着く先は……」道警ヤジ排除問題で市民集会」『朝日新聞デジタル』2023.09.16. 21:00. <https://www.asahi.com/articles/ASR9J6K72R9JIIPE00B.html>
- ・「ヒロシマの空白 中国新聞とプレスコード第 1 部 原爆記事への監視」『中国新聞デジタル』2023.09.19-10.05.
 - ①唯一の違反「マッカーサー」言及で形式判断 <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/362334>
 - ②地方紙への検閲遅れ、網擦り抜けた初期の 71 本 <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/362604>
 - ③検閲の手引書 原爆報道懸念し追加 <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/363208>
 - ④朝日新聞の発行停止 投下非難の鳩山発言掲載 <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/363641>
 - ⑤隠したかった人体影響 開示の線引き、米の都合で <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/364740>
 - ⑥3 人の米国人 記者ハーシー氏を警戒か <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/365044>
 - ⑦峠三吉の懸賞論文 検閲にばらつき、「労組」反応か <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/365828>
 - ⑧平和都市法と GHQ 成立後から緩んだ検閲 <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/366351>
 - ⑨「投下」批判への対応 「正しく」再教育に腐心 <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/366667>
 - ⑩読売新聞の「ボツ」記事 本紙には掲載、映す矛盾 <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/368277>
 - ⑪「あの日」の写真初掲載 見つからない検閲文書 <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/368786>
 - ⑫原子爆弾製造禁止の宣言 検閲意識、12 行に苦心の跡 <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/369288>
- ・「漫画版「アンネの日記」を授業で使った米教師、解雇される。何が問題になったのか」『HUFFPOST』2023.09.22. https://www.huffpost.jp/entry/texas-fires-teacher-over-anne-frank-graphic-novel_j_p_650d268be4b0e190a3a821a7

ネット社会・監視

- ・「「X」がプライバシーポリシー改定 利用者の生体情報や職歴など収集へ」『BBC』2023.09.02. <https://www.bbc.com/japanese/66693107>
- ・「アングル：インドで強まるネット言論規制、アーティストも抵抗の声」『ロイター』2023.09.03.

07:56. <https://jp.reuters.com/article/india-tech-lawsuit-idJPKBN30407J>

- ・「銃、性的指向…子どもの SNS 監視 安全かプライバシーか、米で議論」『朝日新聞デジタル』2023.09.05. 16:00. <https://www.asahi.com/articles/ASR8T7DKYR8QUULLI004.html>
[学習履歴などのデータ活用について滋賀大の藤村祐子准教授と福岡大の佐藤仁教授に聞く／犯罪リスクがある子どもをリスト化／性的マイノリティーに関わる言葉抽出／企業に法規制、保護者の権利確保／自治体任せにせず、国が法的整備を]
- ・「「ハイト投稿は 24 時間以内に削除義務」 ドイツの最新ネット事情」『毎日新聞』2023.09.08. 08:00. <https://mainichi.jp/articles/20230906/k00/00m/040/166000c>
- ・「パリ五輪の AI カメラによる監視計画、プライバシーへの懸念高まる」『Forbes JAPAN』2023.09.11. <https://forbesjapan.com/articles/detail/65827>
- ・「グーグルが「大規模なプライバシー侵害」 オランダ消費者団体が提訴」『Forbes JAPAN』2023.09.15. <https://forbesjapan.com/articles/detail/66017>

検温カメラの顔画像保存

- ・「検温で撮影、顔画像は「個人情報」 コロナで普及、保存のまま転売相次ぐ」『朝日新聞デジタル』2023.09.14. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15741021.html>
- ・「顔画像の消去、国・地方に要請 体温測定カメラで個人情報委」『中国新聞デジタル』2023.09.15. <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/361004>
- ・「検温で撮影した顔画像は「個人情報」 個人情報保護委員会が注意喚起へ」『財経新聞』2023.09.23. 10:00. <https://www.zaikei.co.jp/article/20230923/738938.html>
- ・「中古「検温カメラ」から顔画像流出…その原因、個人情報・悪用されるリスクは？ 専門家が解説」『マイナビニュース』2023.09.30. 06:00. <https://news.mynavi.jp/article/20230930-2782109/>

マイナンバーカード

- ・「マイナンバー問題 個人情報保護委 デジタル庁に行政指導で調整」『NHK NEWS WEB』2023.09.20. 07:25. <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230920/k10014200661000.html>
- ・長倉克枝「個人情報保護委員会がデジタル庁を行政指導、当事者意識の欠如で対策が後手に」『日経 XTECH』2023.09.21. <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/08422/>
- ・「デジタル庁に行政指導 マイナ口座誤登録 個人情報保護委」『朝日新聞デジタル』2023.09.21. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15747127.html>
- ・「個人情報保護「庁内の周知不十分を反省」 河野デジタル相」『日本経済新聞』2023.09.22. 13:17. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UA2237E0S3A920C2000000/>
- ・（論説）「マイナ誤登録で行政指導 不転で信頼回復を」『山陰中央新報デジタル』2023.09.22. 04:00. <https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/454795>
- ・鳴海崇「デジタル庁へ個人情報漏洩で行政指導 「法律の軽視」が広げた国民不信」『日経ビジネス』2023.09.25. <https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00580/092200006/>
- ・（社説）「デジ庁に行政指導 信頼回復、問われる覚悟」『秋田魁新報』2023.09.26. <https://www.sakigake.jp/news/article/20230926AK0016/>
- ・（社説）「デジ庁への指導／個人情報の重み自覚せよ」『神戸新聞 NEXT』2023.09.28. 06:00. <https://www.kobe-np.co.jp/opinion/202309/0016858480.shtml>

2023 年 10 月

- ・鈴木啓子（こらむ図書館の自由）「学校図書館の検閲と多様性」『図書館雑誌』vol.117, no.10, 2023.10, p.623. <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/640/default.aspx#202310>
- ・村岡和彦「部落差別事象と図書館をめぐるあれこれー「西と東」「同対」その他」『みんなの図書館』558号, 2023.10, p.22-27.
- ・「「まだ読める本も」大量廃棄で消えた 47 万冊…図書室リニューアルのギモンと課題 #ニュースその後」『yahoo!ニュース（広島ホームテレビ）』2023.10.01. 18:03. <https://news.yahoo.co.jp/articles/3ad8160fe21842f0fdd2fef40abf7aab117cac88>

- ・「ジャニーズ事務所、CD や DVD の回収・販売停止について「検討中」と回答」『KAI-YOU』2023.10.03. 19:21. <https://kai-you.net/article/87867>
- ・「滋賀・湖南市、図書館廃止で蔵書を小中学校に配布へ」『京都新聞』2023.10.04. 07:00. <https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1122435>
- ・「滋賀県湖南市議会の委員会、石部図書館と石部文化ホール廃止案を否決 本会議でも否決へ」『京都新聞』2023.10.14. 05:10. <https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1128480>

図書館による不適切なデータの管理

- ・「中津市立図書館 メール誤送信 28 人に他人のアドレスが見られる状態で送信 大分」『FNN プライム オンライン』2023.10.12. 19:00. <https://www.fnn.jp/articles/-/599918> <https://archive.is/RFHS2>
- ・「ブックリサイクル譲渡本に残っていた旧式ブックカードの回収について」『北九州市教育委員会』報道資料 2023.10.31. <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001055146.pdf>
- ・「【有料記事】ブックカード残る本を数十冊譲渡か 市教委回収呼び掛け 北九州・中央図書館 /福岡」『毎日新聞』2023.11.01. <https://mainichi.jp/articles/20231101/ddl/k40/010/262000c>

有害図書/青少年条例

- ・元城健「不健全図書の定義とは? 漫画家が危惧する拡大解釈と印象操作」『Real Sound』2023.10.13. 12:30. <https://realsound.jp/book/2023/10/post-1458098.html>
- ・「公共空間にあふれる「性的な」広告 表現の規制よりも大切なものは」『朝日新聞デジタル』2023.10.16. 12:00. <https://digital.asahi.com/articles/ASRBD6T47RB4UPQJ00M.html>
[メディア研究者の田中東子さんに聞きました。/2次元キャラだから NG なのか?]
- ・「エロは隠れて見ればいい マンガ家・山本直樹の「表現の自由」の戦い」『朝日新聞デジタル』2023.10.16. 16:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRBF71N8R9QUPQJ012.html>
[それを見たくない人がいるなら/性的な表現をなくせばいいのか/本当に問われるべきことは]
- ・「性的コンテンツの「表現の自由」どう守る 理想は「良心的な歯医者」」『朝日新聞デジタル』2023.10.17. 06:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRBF637DRBDUPQJ004.html>
[憲法学者の志田陽子さんに聞きました。/人権重視の市民が表現規制の側へ]

言論の自由/表現の自由

- ・「“警備”という名のもとに…ドキュメンタリー「ヤジと民主主義 劇場拡大版」予告解禁」『映画ナタリー』2023.10.05. 12:05. <https://natalie.mu/eiga/news/543781>
- ・「羊が集団でオオカミに抵抗する絵本、香港に輸入し禁錮4月…「憎悪を広め中央政府を中傷」」『読売新聞オンライン』2023.10.07. 16:59. <https://www.yomiuri.co.jp/world/20231007-OYT1T50176/>
- ・「権力と報道の関係を考える」『日本経済新聞』2023.10.12. 02:00. <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ075181290R11C23A0EN8000/>
- ・「映画の助成金取り消しで製作会社が訴えた裁判 最高裁で弁論」『NHK NEWS WEB』2023.10.13. 18:16. <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231013/k10014224681000.html>
- ・「映画「ヤジと民主主義」12月公開 当局と距離保ち重ねた取材 北海道放送・山崎裕侍監督の思い」『毎日新聞』2023.10.14. <https://mainichi.jp/articles/20231014/dde/018/200/016000c>
- ・「中国、明朝の歴史書を回収処分 「亡国の王」が習氏を連想か」『東京新聞 TOKYO Web』2023.10.17. 23:31. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/284370>
[明朝最後の皇帝崇禎帝を題材に、中国で9月に出版された歴史書「崇禎：勤政的亡国君（勤勉な亡国の王）」が17日までに回収処分となった。]
- ・「「表現の自由を妨げた」…規則違反の「座り込み」で注意された反原発市民団体が県に抗議、行政指導の無効求める」『南日本新聞』2023.10.21. 11:11. <https://373news.com/news/storyid/184035/>
- ・（こちら特捜部）「石原慎太郎都政の「日の丸・君が代強制」から20年 「モノ言えぬ」教育現場に人は集まるのか」『東京新聞 TOKYO Web』2023.10.24. 12:00. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/285542>
- ・「日本学術会議の会員候補、菅前首相が拒否した6人の名前開示…「外すべき者」と文書に手書き」『読売新聞オンライン』2023.10.24. 05:00. <https://www.yomiuri.co.jp/science/20231024-OYT1T50065/>

「帝国の慰安婦」著者に無罪判決

- ・「「帝国の慰安婦」著者、韓国最高裁が有罪判決を破棄…「無罪の趣旨」で審理差し戻し」『読売新聞オンライン』2023.10.26. 14:14. <https://www.yomiuri.co.jp/world/20231026-0YT1T50167/>
- ・「「慰安婦本」裁判、有罪判決破棄 韓国最高裁「無罪の趣旨」」『JIJI.COM』2023.10.26. 17:50. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2023102600197&g=soc>
- ・「「帝国の慰安婦」、名誉毀損認めず 韓国最高裁が著者の有罪判決破棄」『朝日新聞デジタル』2023.10.26. 19:00. <https://www.asahi.com/articles/ASRBV5SJ7RBRUHBI05F.html>
- ・「韓国教授に「無罪」 最高裁、慰安婦著書巡り「表現の自由」強調」『産経新聞』2023.10.26. 19:33. <https://www.sankei.com/article/20231026-XFC6WRQCINLXHKY4C5M7ZSWGHE/>
- ・「「帝国の慰安婦」著者の有罪判決を破棄 韓国最高裁 「無罪の趣旨」で差し戻し」『東京新聞 TOKYO Web』2023.10.26. 22:31. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/286183>
- ・「制限されていた「学問の自由」が8年ぶりに解放された…韓国大法院、「帝国の慰安婦」朴裕河教授に無罪判断」『朝鮮日報』2023.10.27. 11:21. https://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2023/10/27/2023102780012.html
- (社説)「「慰安婦」判決 学問の自由 守られた」『朝日新聞デジタル』2023.10.30. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15779366.html>

ネット社会・監視

- ・「「児童ポルノ規制」を旗印に iPhone のプライバシー保護を弱体化させようとする圧力団体は出所不明の政治資金で運営されている」『Gigazine』2023.10.03. 19:00. <https://gigazine.net/news/20231003-attacking-apple-encryption-dark-money/>
- ・「SNS「検閲」禁止法など審理 米連邦最高裁が新会期」『日本経済新聞』2023.10.03. 06:01. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0GN29DP80Z20C23A9000000/>
[各社による投稿の削除や規制を禁じた南部フロリダ州とテキサス州の法律の合憲性などを審理]
- ・「米連邦最高裁、SNS 監視禁止法を審理 来年夏までに判断」『日本経済新聞』2023.10.04. 02:00. <https://www.nikkei.com/article/DGKZ074991490U3A001C2FF8000/>
- ・Rina Chandran「AI 技術、政府の検閲強化や偽情報拡散を助長する恐れ＝報告書」『ロイター』2023.10.04. 15:19. <https://jp.reuters.com/business/technology/EIPQLESYHBNVHJ16AFMW73BW7Y-2023-10-04/>
- ・「ネット記事のプライバシー重視…読売新聞・LINE ヤフーが共同声明」『読売新聞オンライン』2023.10.05. 15:00. <https://www.yomiuri.co.jp/national/20231005-0YT1T50180/>
- ・「LINE ヤフー、読売新聞とプライバシー尊重の共同声明」『日本経済新聞』2023.10.05. 19:17. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UC059EK0V01C23A0000000/>
- ・「【LINE ヤフー】読売新聞と LINE ヤフーが共同声明を発表 インターネット上の記事におけるプライバシー尊重に具体策を実施」『JIJI.COM』2023.10.05. 20:16. <https://www.jiji.com/jc/article?k=000000018.000129774&g=prt>
- ・(社説)「SNS の役割 高い公益性十分自覚を」『北海道新聞』2023.10.09. 05:00. <https://www.hokkaido-np.co.jp/article/921948/>
- ・谷脇康彦「ネットを監視も干渉もしない国は、日本を含むたった 4 カ国だけ」『日経ビジネス』2023.10.10. <https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00461/092600110/>
- ・「岸田首相「自由なインターネット維持、極めて重要」…国連フォーラムできょう表明」『読売新聞オンライン』2023.10.09. 05:00. <https://www.yomiuri.co.jp/politics/20231008-0YT1T50255/>

生成 AI

- ・「生成 AI の学習、著作権法改正を 新聞協会、国に要望」『毎日新聞』2023.10.18. <https://mainichi.jp/articles/20231018/ddm/012/040/100000c>
- ・「生成 AI 活用で透明性確保を 政府検討会で業界団体」『日本経済新聞』2023.10.18. 02:00. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UA182Q20Y3A011C2000000/>
- ・「AI 開発者の国際的指針、G7 大筋合意…著作権の適切な保護など 11 項目」『読売新聞オンライン』2023.10.18. 05:00. <https://www.yomiuri.co.jp/economy/20231017-0YT1T50322/>

- ・「生成 AI 時代に「インターネットの自由」を取り戻す方法」『MIT テクノロジーレビュー』2023. 10. 19.
<https://www.technologyreview.jp/s/319344/how-to-fight-for-internet-freedom/>

ハイトスピーチ／ネット中傷

- ・「SNS の誹謗中傷対策へ、兵庫県が新条例を検討 差別的な投稿や真偽不明情報の拡散「是正すべき」」『神戸新聞 NEXT』2023. 10. 05. 19:35. <https://www.kobe-np.co.jp/news/society/202310/0016886791.shtml>
- ・「「ヤフコメ」誹謗中傷対策 Yahoo! が月に約 23.8 万件の不適切投稿を削除」『ロコミラボ』2023. 10. 11. <https://lab.kutikomi.com/news/report/yahoo-japan-media-transparency-report/>

個人情報保護/利用

- ・「個人情報だらけの民事判決データベース どこまで公開するのか AI 活用に期待、匿名化や運営方法議論」『産経新聞』2023. 10. 03. 19:14.
<https://www.sankei.com/article/20231003-KUQ5QDZBFOKNTVUP7WBP44PM/>
- ・「原則は「匿名」の特定少年を「実名」で広報 沖縄県警がミス 大麻取締法違反疑いで逮捕の事件」『琉球新報』2023. 10. 07. 12:31. <https://ryukyushimpo.jp/news/national/entry-2344582.html>
- ・「安否不明者情報公表へ…災害時に[山形]県 家族同意なしでも」『読売新聞オンライン』2023. 10. 04. 05:00. <https://www.yomiuri.co.jp/local/yamagata/news/20231003-0YTNT50249/>
- ・「救急時、同意なく情報閲覧の方針 マイナ保険証で政府、24 年にも」『東京新聞 TOKYO Web』2023. 10. 17. 21:05. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/284353>
- ・「新造の鉄道車両に防犯カメラ 「安全」見守り異常を察知、設置義務 15 日施行」『産経新聞』2023. 10. 14. 19:23. <https://www.sankei.com/article/20231014-WEARAOXPCNJHXNAGKUHKSZZZAE/>
- ・「Amazon は Kindle ユーザーの「読書情報」をどれだけ追跡しているのか?」『Gigazine』2023. 10. 16. 07:00. <https://gigazine.net/news/20231016-kindle-tracking/>
- ・(論点)「マイナンバー再考」『毎日新聞』2023. 10. 18.
<https://mainichi.jp/articles/20231018/ddm/004/070/015000c>
- ・「マイナ漏洩問題、再発防止策報告 デジ庁、個人情報に」『朝日新聞デジタル』2023. 11. 01. 05:00.
<https://www.asahi.com/articles/DA3S15781496.html>

6. おしらせ (講座や集会のお知らせは、終了したのもも記録のために掲載しています)

○日本図書館研究会第 391 回研究例会

テーマ：『塩見昇の学校図書館論 インタビューと論考』を刊行して

日時：2023 年 11 月 11 日(土) 13:30~16:30

発表者：塩見昇氏(大阪教育大学名誉教授) 学校図書館史研究グループ

会場：大阪府立労働センター(エル・おおさか)5F 視聴覚室 大阪市中央区北浜東 3-14 TEL: 06-6942-0001 *大阪メトロ谷町線・京阪電鉄「天満橋駅」より西へ 300m

参加費：無料 定員：100 名

申込：以下のウェブフォームから事前申込みをお願いします。 <https://forms.gle/izK6E2LtfJgWSHvj6>

*締切は 11 月 5 日(日) 連絡先：sumiayano1022@gmail.com(飯田)

ニューズレター「図書館の自由」第 120 号(2023 年 6 月)で紹介された著書『塩見昇の学校図書館論 インタビューと論考』(塩見昇語り・日本図書館研究会学校図書館史研究グループ編著 日本図書館研究会 2023. 5)の報告を行います。

本書は、1975 年度から 1998 年度まで図書館の自由に関する調査委員会の委員を務められ、日本図書館協会や日本図書館研究会の理事長も歴任された塩見昇氏へのインタビュー(第 I 部)と、その学校図書館論の特徴を 4 つのテーマに分けて取り上げた論考(第 II 部)から構成されています。

研究例会では、論考の執筆者が塩見氏の学校図書館論をどう考察したか、何を伝えたかったかを語ります。第 II 部第 2 章「知的自由に裏打ちされた『図書館活動』と『図書館教育』」(山口真也：沖縄国際大学・図書館の自由委員会委員長)の報告もあります。報告後は、塩見氏が本書上梓にあたって思うことを語られます。参加者と共に「学校図書館とは何か」について考えたいと思います。

どなたでもご参加いただけます。どうぞご参集ください。

会場で『塩見昇の学校図書館論』固有名詞索引（塩見昇氏作成）をご希望の方に差し上げます。

○図書館基礎講座 2023 in 関西（兵庫県西脇市）

主催：日本図書館協会図書館基礎講座関西地区実行委員会

日時：2023 年 10 月 3 日（火）・10 月 17 日（火）10:00-16:40

会場：西脇市茜が丘複合施設 Miraie（みらいえ）多目的ホール（西脇市図書館併設）

内容：10 月 3 日＝1（10:00-12:00）図書館サービスの動向（相宗大督*：大阪市立城東図書館）、2（13:00-15:00）出版流通と資料選択（村上さつき*：松戸市立図書館）、特別講座 1（15:10-16:40）魅せる、魅せられる西脇市図書館（楠本昌信：西脇市図書館館長）

10 月 17 日＝3（10:00-12:00）図書館の基礎（井辺裕二*：和歌山県立図書館）、4（13:00-15:00）図書館の自由（鈴木崇文：名古屋市瑞穂図書館・日本図書館協会図書館の自由委員会）、特別講座 2（15:10-16:40）ワクワクがとまらない児童室の作り方（喜多由美子：八尾市立志紀図書館）

*は日本図書館協会認定司書

※非正規雇用職員に関する委員会ページに配布資料掲載 <https://www.jla.or.jp/tabid/805/Default.aspx>

○図書館基礎講座 2023 in 九州（福岡）

主催：公益社団法人日本図書館協会・図書館基礎講座 in 九州実行委員会

会場：福岡県立図書館 レクチャールーム(地下 1 階)

内容：8 月 28 日（月）10:00-12:00 講座 1「現代の図書館の動向」永利和則（福岡女子短期大学）、13:00- 15:00 講座 2「出版流通と資料選択」末次健太郎（伊万里市民図書館）、15:15-16:15 地域限定講座 1「基山町立図書館の取り組みについて」城本直子（基山町立図書館）

9 月 11 日（月）10:00- 12:00 講座 3「図書館の自由」西河内靖泰（前日本図書館協会図書館の自由委員会）、13:00- 15:00 講座 4「図書館の基礎」下川和彦（福岡女子短期大学）、15:15- 16:15 地域限定講座 2「筑後市立図書館の取り組みについて」一ノ瀬留美（筑後市立図書館）

※非正規雇用職員に関する委員会ページに配布資料掲載 <https://www.jla.or.jp/tabid/805/Default.aspx>

○日本図書館文化史研究会 2023 年度研究集会・会員総会

日程：2023 年 9 月 8 日（金）～10（日）

場所：アイーナいわて県民情報交流センターほか

参照 URL：<http://jalih.jp/events/2023/syuukai2023.html>

9 月 10 日（日）個人発表 4 石黒志保（山形大学）「山形県における「追放図書」の実態」

○図書館総合展 2022 ポスターセッション「図書館利用のプライバシー保護について学ぼう！」

図書館の自由委員会サイトでは 2021 年度出展の解説動画もあわせて視聴いただけます。

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/952/Default.aspx>

○『図書館の自由』120 号（2023 年 6 月）を発行

『JLA メールマガジン』1144 号 2023.07.20 発信

<https://www.jla.or.jp//tabid/262/Default.aspx?itemid=7284> より転載

日本図書館協会図書館の自由委員会は、ニューズレター『図書館の自由』第 120 号（2023 年 6 月）を発行し、委員会サイトに掲載した。<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/638/Default.aspx>

主な内容は以下のとおり。

- ・図書館の自由・表現の自由をめぐる記事紹介（1）週刊新潮、18 歳被疑者実名と顔写真報道（2）書籍の回収／販売中止（3）マイナンバーカードの図書館利用（4）体温測定カメラに顔画像保存（5）香港で風刺作品を図書館から撤去

- ・米国の図書館における検閲に関する動向－ CA2029（小南理恵）

- ・新聞・雑誌記事スクラップ 文献紹介『塩見昇の学校図書館論 インタビューと論考』／お知らせ

なお、本紙はダウンロードして図書館等で印刷して提供できます。メールでの送付を希望する方は、本誌の購読案内（無料）よりお申込みください。

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/679/Default.aspx>

○日本図書館協会図書館の自由委員会編『「図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂」解説』第 3 版 日本図書館協会 2022 年 5 月刊（施設 ABC 会員配付資料）

A5 230p 1500 円（税別） ISBN978-4-8204-2202-0

<http://www.jla.or.jp/publications/tabid/87/pdid/p11-000000590/Default.aspx>

18 年ぶりの大幅改訂，図書館の自由を豊富な資料で補強！

2004 年の第 2 版から 18 年，この間，図書館をめぐるあらゆる状況が変化してきました。本書はその変化を踏まえて，図書館運営の根本原則と言える「図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂」を詳細に解説しています。あわせて，日本図書館協会の声明や見解，34 点に及ぶ関連法規の抄録，諸外国の基準も豊富に収録しました。図書館の自由にかかわる問題が起きたときに，本書が冷静に判断する一助となるでしょう。



【主な内容】

図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂（本文）

1. 宣言の採択・改訂とその後の展開

宣言の採択／図書館の自由の展開／自由委員会の成立と宣言改訂／宣言改訂以降の図書館の自由をめぐる問題 ほか

2. 宣言の解説

国民に対する約束／図書館員の職業倫理／知る自由と図書館の自由／知る自由と情報公開／あらゆる資料要求にこたえる／提供の自由とその制限／図書館が知りうる事実とプライバシー保護ガイドライン／図書館と検閲／国民の支持と協力 ほか

3. 資料編

〈日本図書館協会の基準・見解〉図書館員の倫理綱領／差別的表現と批判された蔵書の提供について／デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドライン ほか

〈法令関連条文〉情報公開法／公文書管理法／障害者差別解消法／刑法／特定秘密保護法／少年法／マイナンバー法 ほか

〈諸外国の基準〉世界人権宣言／児童の権利に関する条約／ユネスコ公共図書館宣言／IFLA インターネット宣言 ほか

○『「図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂」解説』第 3 版 正誤表（2022 年 10 月 12 日更新）

<https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/出版委員会/List%20of%20errata-Intellectual%20Freedom%203rd%20ed.202210.pdf>

ページ・行	誤	正
p20 6 行目	進展とともに頻出し	進展とともに頻出し
p36 17 行目	提供制限をしながら	資料提供をしながら
p187 3 行目	1948 年 6 月 18 日	1939 年 6 月 19 日

○『『図書館年鑑』にみる「図書館の自由に関する宣言」2004 年から 2017 年のあゆみ』

日本図書館協会図書館の自由委員会編 2019. 10 ¥3,000+税 ISBN978-4-8204-1908-2

○『図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂のころ：塩見昇講演会記録集』

塩見昇著 日本図書館協会図書館の自由委員会編 (JLA Booklet No.3) 日本図書館協会 2018.10
ISBN978-4-8204-1810-8 ¥1,000+税

○塩見昇著『図書館の自由委員会の成立と「図書館の自由に関する宣言」改訂』
日本図書館協会 2017.12 ISBN978-4-8204-1712-5 ¥2,200+税

○『図書館の自由を求めて:「図書館の自由に関する宣言」採択 50 周年記念座談会と 60 周年記念
講演会の記録』日本図書館協会 2016.4 ISBN978-4-8204-1602-9 ¥1,200+税

○『図書館の自由に関する全国公立図書館調査 2011 年付・図書館の自由に関する事例 2005~2011
年』日本図書館協会図書館の自由委員会編 日本図書館協会 2013.7
ISBN978-4-8204-1303-5 ¥2,000+税

※協会へ注文されると個人会員の方は会員割引(定価の 2 割引)で購入できます。

○図書館の自由展示パネル「なんでも読める 自由に読める!?’ –2023 年 10 月改訂–
日本図書館協会図書館の自由委員会は、「図書館の自由」にかかわるさまざまな資料を視覚的に提示し、
図書館員や図書館利用者の皆さんに見ていただき、「図書館の自由宣言」などについて知っていただくこと
を目的とした展示パネルを作成しています。このほどコロナ禍の図書館や 2019 年策定のデジタルネットワ
ーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドラインについてなど最近の課題を追加して全部で
15 枚に改訂しました。無料で貸出していますのでどうぞご利用ください。展示会場で配布できるリーフレ
ット原稿も用意してあります。

◆パネルの概要

B2 横 (51×72cm) 15 枚

- 1 展示パネルの趣旨・略年表
- 2 図書館の自由に関する普及活動
- 3 戦中・戦前 検閲と思想善導
- 4 自主規制をのりこえるきっかけとなった事件
- 5 資料収集の自由を守る – 収集を阻害するもの
- 6 資料収集の自由を守る – 人権と差別
- 7 資料収集の自由を守る – 少年事件報道 制限から提供へ
- 8 資料提供の自由を守る – 青少年条例と有害図書規制
- 9 子どもたちの読書の自由
- 10 利用者の秘密を守る – 捜査機関・報道機関からの照会
- 11 利用者の秘密を守る – ネットワーク時代の問題
- 12 フィクションの中で誤解される図書館像
- 13 新型コロナのパンデミックと図書館の自由
- 14 公立図書館に対し公平で中立なサービスを求める裁判
- 15 条例や規程に見る図書館の自由の精神

◆問合せ・申込先日本図書館協会図書館の自由委員会事務局

電話 03-3523-0814 FAX03-3523-0841 jiyu@jla.or.jp

<http://www.jla.or.jp/portals/0/data/iinkai/jiyu/panel2010.html>

○「図書館の自由に関する宣言」ポスター、はがき

- ・ポスター (B2 サイズ (515mm×728mm) 1 枚 700 円+送料・手数料 300 円
- ・はがき 10 枚 100 円+送料実費
- ・はがき 5 枚, 宣言小冊子 1 冊 (A7 サイズ 8p 中折三つ目とじ) 100 円+送料実費

※問合せ・申込先:日本図書館協会図書館の自由委員会事務局
<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/682/default.aspx>

※上記サイトに掲載しているポスター・はがきの図柄は、自由利用
(「プリントアウト・コピー・無料配布」OK)していただけます。
利用の際は必ず次のサイトをご確認下さい。
<http://www.bunka.go.jp/jiyuriyo/>



○図書館の自由委員会からのお知らせは、協会 X (旧ツイッター) から提供しています。
#自由委員会をつけていますのでこちらもご活用ください。
日本図書館協会/JLA@JLA_information (https://twitter.com/JLA_information)

○『図書館の自由』ニューズレター 電子版購読案内

電子版(無料)購読希望者は、受信を希望するメールアドレスから電子メールにてご連絡ください。

宛先:nljiyu@jla☆yahoo.co.jp (送信時に☆を@(半角)に変えてください)

件名:「新規配信希望」としてください。

本文:個人の場合は「氏名・所属等(任意)」を、団体の場合は「団体名・担当係(者)名」をご記入ください。

※受信希望アドレスから送信できない場合は、本文中に受信希望アドレスをご記入ください。

※2営業日以内に受領のご連絡をします。返信のない場合はお手数ですが再度ご一報ください。

※読み上げソフト利用の都合などで word 形式をご希望の方はお知らせください。

本誌は、図書館等で印刷して提供していただけます。

図書館の自由第 121 号 (2023 年 11 月)

編集・発行:公益社団法人日本図書館協会図書館の自由委員会 不定期刊

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/182/default.aspx>

問合せ・連絡先:公益社団法人日本図書館協会図書館の自由委員会事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14

電話 (03) 3523-0814

Email nljiyu@jla☆yahoo.co.jp (送信時に☆を@(半角)に変えてください)

これまでの目次 <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/638/default.aspx>

電子版購読費:無料
